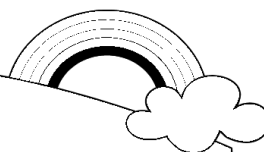




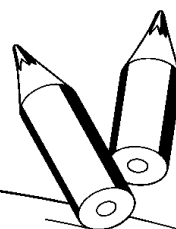
第3回アフターレポート



おしゃべり えほんの会

今回のテーマ

科学絵本をもっと楽しもう！



於：平成 27 年 7 月 2 日（木）午前 10 時～11 時半 四日市市立図書館 2 階視聴覚ホール

絵本の好きな人が集まり、「絵本について気軽に話をしよう！」と、昨年始まったこの会、本日のテーマは『科学絵本をもっと楽しもう！』。

絵本をたくさん読んでいても、普段は意識していなかったり、見過ごされたりしがちな科学の絵本ですが、それではあまりにもったいない！

図書館にある本や、それぞれ持参した本を並べ、新しい発見をすべく、みんなで読み合いました。



▲数学や工学から生物まで幅広く。

科学絵本の魅力は、なんといっても、驚きと発見にあふれていること！大人ばかりでも、「わー」「えー」「知らなかった！」と大はしゃぎ。

じっくり読んだり、おしゃべりしながら読んだりしたあと、それぞれが「きょうの掘り出しもの」を発表し、紹介しました。



▲最初はじっくり見定めて・・・

読みきかせをしてみる人も。▶

裏面に、参加者が取り上げた科学絵本と、科学絵本の魅力についての声をまとめました。



科学絵本について思うことは・・・

- ・知らないことを、絵や写真で具体的に教えてくれる。未知の世界への第一歩。
- ・つくりごとでない、面白さがある。
- ・小さいころは絵を楽しみ、大きくなったら内容を楽しむことができる。年齢を問わない。
- ・知らない世界に出会える。驚き、発見にあふれていて、ドキドキ感がある。
- ・理科好き人間へのとっかかりに。
- ・事柄に、客観的な決まり、原理を見だし、全体を体系的・組織的に説明している。
- ・数学の本があり、え？と思ったけれど、数学も科学なのと思った。
- ・子どもが、いろいろよく知ってるなあ、と思う時がある。絵本をたくさん読んでいるので、そこで得た知識なのかと思う。
- ・生活のすぐそばにある絵本だと思う。子どもは、本に載っていたことを、すぐその場でやりそう。

参加者が取り上げた本 ※()内は、四日市市立図書館での場所を示しています

『おどろきいっぱい！トマト』 しぜんにタッチ！シリーズ ひさかたチャイルド(626)

『あーといってよあー』 小野寺悦子／文 堀川理万子／絵 福音館(P ホ/とも)

『ぎふちょう』 館野鴻／作 偕成社(P タ)

『ふゆめがっしょうだん』 長新太／文 富成忠夫・茂木透／写真 福音館(P ト/とも)

『死を食べる』 宮崎学／作 偕成社(481)

『ひがんばん』 甲斐信枝／作 福音館(P カ/とも)

『かわ』 加古里子／作 福音館(P カ/とも)

『じめんのうえとじめんのした』 アーマー E. ウェーバー／作 福音館(471)

『野生の動物を守りたい めくりしかけえほん』 フランセス・バリー／作 大日本図書(未所蔵)

『あめがふるとき ちょうちょうは どこへ』 ケリック／文 ワイズガード／絵 金の星社(P ワ/書庫)

『たねのはなし』 アストン／文 ロング／絵 ほるぷ出版(P ロ)

『タンポポのわたげ』 偕成社(471)

『りんごのき』 ペチシカ／文 ズマトリーカバー／絵 福音館(P ス)

『木のうた』 イエラ・マリ／作 ほるぷ出版(P マ)

『おうさまライオンのケーキ はんぶんのはんぶん ばいのばいのおはなし』
マシユー・マケリゴッド／作 徳間書店(P マ)

『1つぶのおこめ』 デミ／作 光村教育図書(P テ)

『だいたいいくつ』 ブルース・ゴールドストーン／作 福音館(410)

『なかをそうぞうしてみよ』 佐藤雅彦＋ユーフラテス／作 福音館(P//とも)

『ふしぎなナイフ』 中村牧江・林健三／作 福田隆義／絵 福音館(P フ/とも)

『まほうのコップ』 藤田千恵／原案 長谷川摂子／文 川島敏生／写真
福音館(P カ/とも)

『せかいのひとびと』 ピーター・スピーアー／作 評論社(P ス)

『新幹線と車両基地』 モリナガヨウ／著 あかね書房(546)

『まちにはいろんなかおがいて』 佐々木マキ／作 福音館(P サ/とも)

